

# 地域全体で子どもを育む地域ぐるみの教育

【田布施町 田布施中学校区】

## 地域の概要

田布施町は山口県南東部に位置し、瀬戸内海に面する東西8km、南北15.2km、面積50.35平方キロメートルほどの大きさの町です。北西部は山岳地帯となっており、この山岳に源をなす小河川が合流して田布施川となり、町の中央部を貫流し、南部の瀬戸内海に注いでいます。

南方海上1,500mの位置に馬島があり、また北には田布施町飛地として小行司地区があります。

町の中央部は平坦地で市街地をなし、JR山陽本線田布施駅を中心に道路網が放射状に広がっています。

人 口	16,264人	
世 帯 数	6,955世帯	
対 象 校 及 び 児 童・生徒 数	田布施中学校	413人
	麻里府小学校	23人
	麻郷小学校	248人
	田布施西小学校	212人
	東田布施小学校	267人
	城南小学校	117人

## 組織の内容

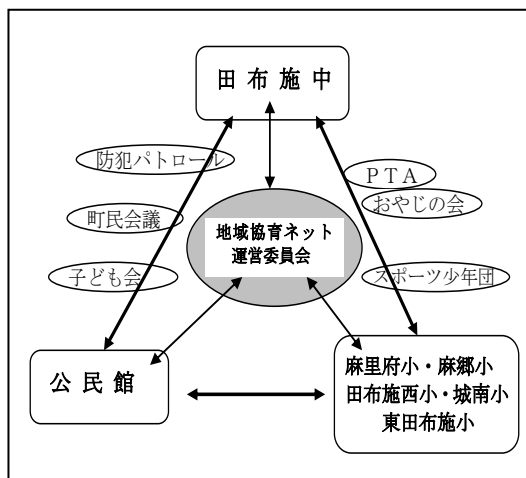
田布施町では、教育委員会が主体となり、組織的に小中連携の取組が行われており、町内小・中学校の教職員が教育理念を共有した上で、学校教育が行なわれています。その成果も着実に現れてきており、現在、田布施町内の児童・生徒は、とても落ち着いた状態で学校生活を送っています。

また、各小・中学校のPTAやおやじの会は、子どもの健やかな成長のため、積極的に学校運営に協力しており、それぞれがアイデアを出し合い、多様な活動を展開しています。一方、地域では、各学校の見守り隊やスクールガードに加え、田布施町健全育成町民会議の補導委員会による定期的な町内巡回や地域ボランティアにより結成された田布施防犯パトロール隊の献身的な活動により、児童生徒が安心して生活できる環境づくりが行われています。

田布施町では、もともと学校と地域の公民館が互いに協力しながら子どもを育てていく土壌があり、公民館が開催する子ども教室、公民館生きがい教室のメンバーによる学校支援など、小中学生の健全な育成を支援するための取組がなされています。また、各小・中学校には、学校支援ボランティアが組織されており、地域が一体となって学校を支援する体制が整えられています。

学校関係者	6
地域団体関係者	2
放課後子ども教室関係者	5
放課後児童クラブ関係者	1
PTA関係者	1
自治体関係者	6

田布施町地域協育ネット  
運営委員会の構成



田布施町地域協育ネットに関わる  
組織図

今後は、学校や地域の各団体が中学校区を単位としてつながり、町全体で子どもの健やかな成長を支援していく必要があります。そのため、田布施町地域協育ネット運営委員会を立ち上げ、学校・家庭・地域がより一層の協働を図っていくことにしました。現在、学習支援員と学校支援ボランティアの相互連携の仕組みづくりや、乳幼児期からの家庭教育支援の充実を重点課題として活動を展開しているところです。

## 主な活動の紹介

### 【活動事例1】地域から学校への支援

#### ○田布施中学校での放課後学習支援

放課後学習を希望する生徒を対象として、基礎学力の定着を図るため、地域在住の退職教員の力を借りて、放課後学習を行っています。数学の基礎的な計算力の定着を目的とし、学校と連携しながら授業では補えきれない部分を放課後学習で補充するようにしています。



田布施中放課後学習

#### ○田布施中学校での食育支援

田布施中学校の3年生が家庭科の一環として、食生活改善推進員のみなさんの協力のもと、調理実習を行っています。ヘルスサポーター21事業が終了した後も、子どもたちが望ましい生活習慣や食生活を身に付けるように、予算を組んで事業を継続しています。献立の作成から調理方法まで丁寧に教えてもらい、生徒にとって、とても役立つ学習になっています。



魚のさばき方を教わる生徒

#### ○田布施西小学校での読み聞かせ

田布施町ボランティア協議会の「花アカシアの会」の8人のメンバーが、田布施西小学校で1年生から6年生までの各教室を担当し、発達段階に応じた本を選んで読み聞かせをしています。児童は読み聞かせの日を楽しみにしており、本に関心をもつ良い機会にもなっています。



1年教室での読み聞かせ

#### ○麻郷小学校での出前授業

6年生理科の「月と太陽」の単元を学習する時期に、田布施町天文同好会の会員が出前授業を行っています。天体望遠鏡を使って太陽観測をしたことがある児童はほとんどいないため、興味をもって学習に取り組んでいます。また、天文同好会の会員は、事前に教科書や学習指導要領に目を通し、学校での学習に沿って話をするように心がけています。



太陽について話を聞く児童

## 【活動事例 2】 学校から地域への支援

社会福祉協議会と小・中学校が連携し、児童・生徒が地域でボランティア活動をしています。ボランティア祭においては、田布施中学校の生徒ボランティアが、テントの設営に始まり、受付、体験コーナーのお世話などを行っています。福祉活動を実際に体験することにより、仕事の大切さを学ぶ良い機会になっています。また、環境美化ボランティア活動には、150人以上の児童・生徒が参加し、地域住民の支援のもと田布施川沿いの清掃活動を行っています。



車椅子の介助をする生徒

## 【活動事例 3】 教員による地域支援

### ○創作教室（放課後子ども教室）の支援

毎月2回土曜日に、町内の教員が児童の活動を支援しています。1学期は小学校教員5名が田布施西小学校の図工室でアイデア工作、2学期は田布施中学校の教員4名が中学校の理科室等を利用して科学実験や科学工作、3学期は田布施工業高校で田布施工業高校の教員が電子工作の指導を行っています。児童にとっては、専門的な知識や技能を習得できるとともに、中学校・高校を身近に感じることができる機会となっています。



田布施中学校での科学工作

### ○生涯学習人材バンクの登録

教員が町の人材バンクに登録し、要請があれば地域住民の「生涯学習講座」の講師や「たぶせキッズ教室」の指導者として活動しています。教員も地域社会の発展に少しでも貢献したいという気持ちから、快く登録していただいています。



たぶせキッズ教室（ブーメラン）

## 【活動事例 4】 学校と公民館の連携

- ・小学校どんど焼きの支援 ・三世代交流会
- ・親子料理教室 ・地域ふれあい会
- ・夏休み子ども教室 ・夏休み子ども公民館講座
- ・子ども料理教室 ・夏休み子ども工房
- ・生きがい教室受講者と児童・生徒との交流



城南地域 6年生とのふれあい会

## 【活動事例 5】 教育支援員の相互連携

現在町内9箇所で開催している放課後子ども教室の支援員が、相互に連携して活動しています。東田布施小放課後子ども教室の指導者が、田布施西小放課後子ども教室で手品を教えるなど、相互に他の教室を支援することにより、活動内容の幅が広がり、児童にとって、今までできなかった活動を経験することができるようになってきました。



手品教室の様子



## 【活動事例6】放課後子ども教室と公民館の連携

### ○生涯学習の成果を子どもに還元

麻里府小放課後子ども教室では、麻里府公民館の生涯学習講座の指導者や受講生が連携し、助け合いの精神で教室を運営しています。お互いに誘い合いながら協力者を増やし、現在では13名のメンバーが、協力して子ども教室を運営しています。それぞれの支援員が公民館講座の関係者であるため、公民館文化祭や各種作品展などを活用して、児童の作品を発表する場を設けることができます。



麻里府小放課後子ども教室

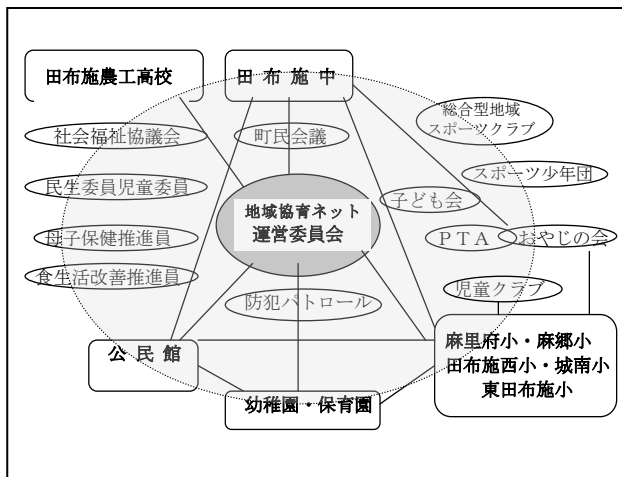
### ○イモの販売体験

東田布施小学校の児童が、放課後の時間を利用して公民館の空き地で「なかよし畑」を作り、サツマイモを栽培しました。放課後子ども教室の支援員とともに開墾、植え付けを行い、収穫後は東田布施公民館まつりで販売を行いました。生産から販売までを体験することができ、児童にとって貴重な経験になりました。



イモの販売体験の様子

## 今後の取組



協育ネットに関わる組織図（将来ビジョン）

現在は、地域協育ネットのコーディネートを運営委員会事務局が主に行っていますが、今後は、地域のコーディネーターの発掘・養成に力を入れる必要があります。

また、親の学びを支援するため、保健センターや母子保健推進員と連携しながら家庭教育支援をより充実させ、安心して子育てのできる環境を醸成していきたいと考えています。

## 放課後子ども教室の教育支援員さんにインタビュー

子どもたちと接することで、私たちが元気もらっています。子どもは地域の宝です。これからも、子どもたちが健やかに成長していくように力になりたいと思っています。